

ブナの里

朝の陽ざしに雪化粧が映える黒松内町歌才のブナの樹々

写真提供：黒松内町ブナセンター

- ◇ 2024年 大代理事長 新年のあいさつ P2, 3
- ◇ 当法人事業所のある4町村長から新年のごあいさつ P4, 5
- ◇ 法人各施設 年末行事特集 P8~11

2024年 年頭のおぼろり



社会福祉法人黒松内つくし園
理事長 大代 貴 輝

新年明けましておめでとうございませう。

2024年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

利用者・ご家族の皆様をはじめ、関係機関各位、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当法人の運営に当たり、地域の皆様をはじめ黒松内町、俱知安町、京極町、泊村、関係機関の皆様には格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。さらに、法人役職員とご家族の皆様には日頃の法人運営へのご尽力並びにご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年(2023年)は役員改選の事業年度を迎え、6月の定時評議員会において、理事長として3期目の選任を受け、2025年6月まで、

行う年となりました。

4月から新理事に池田理事を迎え、さらに6月定時評議員会では、高橋理事が理事就任、岡久監事が常勤監事として就任されました。追立監事は評議員に就任され、本間評議員が退任されました。私が理事長として再任いただき、新たな執行体制がスタートしました。

泊村むつみ荘については、2023年4月からの指定管理者を更新、2028年3月まで運営管理を受託させていただくこととなりました。高橋鉄徳泊村長はじめ自治体関係者のご支援ご協力に感謝申し上げます。また、安定経営と地域福祉向上に努めてまいります。

4月より法人本部集中化をさらに推進するため、現状の人材センター及び法人本部総務・財務・人事各部署を部門から部へ転換し、その役割と責任の所在を明確にして、適切且つ円滑な業務執行の実効性を高めることとしました。各部がより一層専門性を高め、総務・財務・人事各部がガバナンスと内部統制の精度を高めてまいります。

さらに、人事・財務ICT化

実現によるさらなる本部集中化と業務効率化へ向けて、大きな一歩を踏み出しました。人事管理システムの導入を決定し、人事部事務所を移転。人事・給与業務の本部集中化をより一層進めていきます。財務ICT化の推進では、電子申請・稟議システム導入と財務会計システムの更新を行うこととしました。監査法人のコンサルを受け、昨年10月のインボイス制度導入へ向けたICT化実現への取り組みを進め、9月から一部拠点で運用を開始しました。今後も順次導入を進め、2024年度中に事務ICT化を本格稼働させていただきます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類移行となりました。各事業所の行事や外出等も徐々に緩和し、これまでご不便ご迷惑をおかけしておりました面会制限等は、状況を見ながらできる限りご家族様のご意向に沿うことができるよう、これからの感染対策を十分実施しながら対応してまいります。新型コロナウイルス感染症は依然感染力は衰えることなく、当法人事業所でも利用

引き続き法人運営の舵取りを任されました。社会福祉法人を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、燃料費や電気料、食材や消耗品等の物価高騰は著しく、さらに人材確保・育成は困難を極めております。この難局を乗り越えるため、関係各位ならびに利用者・ご家族の皆様のご理解ご協力を賜りながら、役員一丸となつて取り組んでまいります。そして、2023年度事業計画の実施と重点目標の達成に向けて、役員一同力を合わせて取り組んでおります。上半期及び第3四半期が経過し、事業運営と経営は計画より厳しい状況が続いております。今年度決算までの残り3ヶ月を健全経営へ向けて取り組んでまいり所存でございます。

2023年は法人にとって新たな体制づくりと事業展開を

法人施設事業所のある4町村長より 2024年 新年のごあいさつ

新年にあたって



鎌田 満 黒松内町長

あけましておめでとうござい
ます。

社会福祉法人黒松内つくし園
の大代理事長をはじめ、役員
の皆様、また、施設の利用者と
そのご家族の皆様には、健やか
に新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年5月の新型コロナ5類移
行後、日常生活が戻りつつある
ものの、感染症そのものがなく
なったわけではなく、町内でも
散発的に流行がみられ、施設関
係者や医療関係者の皆様には、
緊張感が続く状況の中で安定的
な運営を継続していただいてお
りますことに地域を代表して感

謝申し上げます。

近年、国の福祉施策において
は、社会生活や価値観が変化を
する中で、ニーズの多様化や社
会的孤立、生活困窮等を背景と
する深刻な生活課題に対し、地
域共生社会の実現を目指して、
制度・分野を超えた包括的・重
層的な支援が求められておりま
す。

貴法人におかれましても人材
の確保や物価高騰に伴う各種経
費の増加が経営上の重要課題で
あると思われまます。大代理事長
を中心に職員の方々の英知を結
集し、これらの難局を乗り越え、
常に時代と地域の要請に応えた
質の高い福祉サービスが展開さ
れることを期待しております。
結びにあたり、貴法人が更なる
飛躍を遂げられますとともに、
関係各位の益々のご健勝とご多
幸を心からお祈り申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭ご挨拶



文字 一志 俱知安町長

新年あけましておめでとうご
ざいます。

貴法人の役員をはじめ、施
設の入所者・利用者、またその
ご家族の皆様におかれましては、
希望に満ちた新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

急速に進む少子・高齢社会に
おいて、自立が困難な高齢者の
住環境問題、障がいを持つ方
の就労支援など当町が抱える福祉
行政課題に対し、貴法人にご尽
力頂いておりますことに改めて
敬意を表する次第であります。
貴法人が当町において運営さ
れている就労支援事業所「羊蹄
セルプ」をはじめとする福祉施
設は、俱知安町にしっかりと根
付き、当町はもとより、これら
施設の利用者並びにご家族の方
も大変感謝しているところでご

ざいます。

近年、地域住民の複合・複雑
化した支援ニーズに対応する包
括的な支援体制を整備するため
の重層的支援体制整備事業が推
進されております。

今後も、様々な制度改正が進
み、福祉のあり方が大きく変化
する中で、黒松内つくし園に代
表される専門性・経験豊かな社
会福祉法人、NPO等の役割は
大きく、行政と皆様方の協力・
協働がなければ、この難局は乗
り越えられないと感じておりま
すので、当町に対する、貴法人
の一層のご協力をお願い申し上
げるところであります。

新型コロナウイルスの感染拡
大に落ち着きが見られるとはい
え、季節性インフルエンザの流
行など、いまだ収束したとは言
えない状況が続いておりますが、
様々な感染防止対策にご尽力さ
れている皆様方に、心より感謝
申し上げます。

末筆になりますが、貴法人の
益々のご発展ご活躍と皆様にと
りまして良い年になりますよ
うにご祈念申し上げます。新年のご
挨拶とさせていただきます。

新年にあたって



佐古岡 秀徳 京極町長

新年あけましておめでとございます。

貴法人の役職員の皆様をはじめ、施設のご利用者のご家族の皆様におかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えのこ

ととお慶び申し上げます。また、平素より、本町の社会福祉の向上に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴法人が本町で運営されております「養護老人ホーム慶和園」、「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」においては、専門性や豊富な知識と経験に基づく質の高いサービスを提供いただき、利用者はもとよりご家族の皆様から高い評価をいただいているところです。特に、「特別養護老人ホームユニットケ

ア慶和園」につきましては、利用者の住まいとして看取りケアに取り組んでいただくなど、地域包括ケアの向上にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

今後におきましても、貴法人には、高齢者や障がいのある方が、住み慣れた京極町で安心して活き活きと暮らすことができ、環境づくりに努めていただくとともに、災害発生時には福祉避難所の開設にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが昨年5月より2類から5類に移行したとはいえ、依然感染は続いていることから、施設の運営にも様々な制約が続いていることと思いますが、貴法人の役職員および施設のご利用者ご家族の皆様にとって、本年が良い1年となりますことを心からご祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年頭ご挨拶



高橋 鉄徳 泊村長

新年明けましておめでとございます。

令和6年の新年をお迎えになられました貴法人の役職員の皆様、施設をご利用されております皆様及びご家族の皆様には、心からお慶び申し上げます。

また、貴法人には令和5年4月より指定管理者として5年間、当村老人ホームむつみ荘（特養・養護）の管理運営を引き続きお願い申し上げ、サービス利用者様やご家族様への対応など、地域福祉の向上に寄与いただいていることに対しまして感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、各種行事やイベントの実施などコロナ前の生活に戻ろうとする動

きが加速した1年でした。

むつみ荘におかれましても「敬老会」、「むつみ祭り」の開催、ご家族様との居室面会や外出・外泊など感染症に配慮しつつ、様々な行事がある中でご利用者様とご家族様の交流はお互いに待ちに待ったものであり、楽しいひと時を過ごされたことと存じます。

これからも、年をとつても住み慣れた地域で暮らし続けることができ支援を整える「地域包括ケア」において、ご利用者様や施設関係者が地域の人々と交流を深め、地域の様々な人々が施設に出入りできるようにすることで、高齢者だけではなくみんなが暮らしやすい村づくりになっていくことでしょう。

結びにあたり、社会福祉法人黒松内つくし園の益々のご繁栄と職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も発展と喜びの多い明るい年になるようよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人黒松内つくし園 2023年重大ニュース！

当法人の「2023年重大ニュース」が決定しました。

新型コロナウイルス感染症5類移行後も、当法人各施設でクラスター発生が相次ぎ、引き続き感染対策を継続し、職員一丸となって日々奮闘しています。

社会福祉法人を取り巻く環境は厳しさを増していますが、倫理綱領のもと利用者主体のより良い自立支援サービスを提供し、社会貢献事業の継続・推進、SDGsやD&Iの取り組みを行ってまいります。

福祉・介護職員の確保がさらに困難を極める中、2023年には、インドネシア人特定技能16名を採用いたしました。4か国から40数名の外国人職員とともに、役職員総勢480名が一丸となってサービス向上に取り組んでまいります。

さて、この2024年、どのような話題が会報「ブナの里」の紙面を飾るのでしょうか。法人にとって皆様にとって、明るいニュースがより多く伝えられることを期待します。

☆法人業務執行理事・児童養護施設黒松内つくし園施設長の岡久孝雄氏が退任（3月）

☆緑ヶ丘老人ホーム施設長（緑ヶ丘ハイツ施設長兼務）の吉田剛氏が退任（3月）

☆しりべし学園成人寮の生活介護サービス定員を70名から60名に変更（4月）

☆泊村養護・特養むつみ荘で2023年度から2027年度まで5ヶ年の指定管理者を更新（4月）

☆社会福祉法人黒松内つくし園理事に池田重人氏を選任（4月）

☆児童養護施設黒松内つくし園施設長に藤田剛氏が就任（4月）

☆緑ヶ丘老人ホーム施設長に岡久健一氏が就任（4月）

☆法人辞令交付式で新卒採用者10名が辞令を受け取る（4月）＝写真＝



☆法人奨学資金50,000円を黒松内町内の高校生16名に支給（4月）

☆特定技能インドネシア人8名が法人事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催（5月）＝写真＝



☆評議員の本間崇文氏が退任（6月）

☆監事の迫立司氏が退任され評議員に就任(6月)
 ☆理事に泊村養護・特養むつみ荘施設長の高橋英俊氏を選任(6月)

☆常勤監事として元理事の岡久孝雄氏を選任(6月)

☆役員改選により法人理事長に大代貴輝氏を再任。
 常務理事(業務執行理事)に遊部眞澄氏を再任。

(6月) =写真=



☆10月開始のインボイス制度対応のため就労支援事業のシステム変更と電子申請・仕訳作成アプリ導入、財務会計ソフト更新を実施(9月)

☆特定技能インドネシア人8名が法人事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催(10月) =写真=

☆当法人が担当し札幌市で「第22回全国福祉村サミット」を開催(10月)

☆俱知安地区訪問介護等事業所「ヘルパーステーションつくしんぼ」事業を休止(11月)



☆新型コロナウイルス感染症5類移行後も、泊村むつみ荘や慶和園、緑ヶ丘ハイツ、緑ヶ丘老人ホームでクラスターが発生(6~12月)

☆法人各施設でクリスマス会や年忘れ会などの2023年年末行事を開催する(12月)

謹賀新年

えぞふじ納豆

安心安全な道産大豆を使用
 北海道の自然の恵みたっぷり

製造 羊蹄セルブ
 TEL 0136-23-0425
 北海道虻田郡俱知安町字峠下113-14

こどもからおとなまで楽しめる喫茶

喫茶 陽だまり

ミニ図書室、絵本コーナー、
 フリーWi-Fi完備♪
 キッズルーム・マンガ約15,000冊
 地域交流スペースも設置しており、
 団体での会議や交流の場としても
 ご使用可能です。

営業時間 10:00~17:30
 ランチタイム 10:00~14:00
 定休日 日曜日

TEL 0136-55-5000
 北海道虻田郡俱知安町
 南3条西1丁目17

2023年 法人年末行事特集

法人各施設ではいろいろな工夫をしながら、感染対策を徹底して利用者が笑顔となるよう年末の催しを行いました。

黒松内つくし園「クリスマス会」

12月23日、クリスマス会が行われました。今年は5年ぶりに小・中学校の先生方をご招待し、法人理事や外国人技能実習生など、30名以上の来賓の方々に参加して下さいました。

開会のセレモニーではキャンドル隊が各テーブルを回り、全員で『きよしこの夜』を歌いました。続く祝会では、幼児さんや有志による歌やダンスの発表、クイズなどが行われ、ビンゴ大会では1位から30位まで様々な賞品が用意されました。子ども達や来賓の方々、生チランやオードブルなどのごちそうを食べながら会を楽しみました。



黒松内保育園「クリスマス会」

12月22日、今年のクリスマス会は子育て支援センター利用中の14人の赤ちゃんも勢ぞろいしました。サンタさんと一緒に歌ったり、踊ったりして最後にはサンタさんからプレゼントをもらいました。

楽しみにしていたサンタさんに会えて、子ども達は嬉しくて、楽しくて大はしゃぎの1日となりました。



ユニットケア慶和園「クリスマス会」

ようてい・ふきだしユニットの合同行事としてクリスマス会を行いました。

今年は3種類のケーキを用意し、皆さんに好きなケーキを選んで食べていただきました。また、誕生日の方の紹介やクリスマスプレゼントも用意し皆さんへお渡ししました。利用者の皆さんからは「おいしいね♪」「プレゼント、何かな？」などの声が聞かれました。



しりべし学園「クリスマス会」

12月24日にクリスマス会が行われました。子ども達の歌や踊り、職員による演奏などで、笑顔いっぱいの楽しい会となりました。最後にはサンタさんからのプレゼントもあり嬉しそうにしている子ども達の姿が印象的でした。



しりべし学園成人寮「クリスマス会」

12月23日に体育館でクリスマス会を開催しました。利用者の皆さんでクリスマスツリーを飾り付け、記念写真を撮りました。その後、プレゼントを贈呈し、利用者の皆さんは笑顔で喜んでくれました。



緑ヶ丘ハイツ「クリスマス会」

12月25日に各フロアでクリスマス会を開催しました。職員がサンタやトナカイなどに扮し、皆さんでジングルベルなど歌い大変盛り上がりました。その後、クリスマスプレゼントを配り、クリスマスケーキを食べました。皆さんから「楽しかった」「ケーキ美味しかった」との声があり、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



グループホームつくしんぼ「クリスマス会」

12月23日に絆ユニット、25日に縁ユニットでクリスマス会を行いました。また、31日には両ユニット合同で年越し会を行いました。皆さんの大好きなお寿司を囲んで楽しいひと時を過ごしました。



湯の里・黒松内「クリスマス会・忘年会」

湯の里・黒松内ではクリスマス会、忘年会、運動会など各フロアで楽しい企画を立ててクリスマス会・忘年会を行いました。クリスマス会のフロアではサンタとトナカイの衣装を着て、利用者一人ひとりにプレゼントをお配りすると「どこかで見た顔だな」「本物のサンタさんかい？」など冗談を交え記念撮影を行い、今年一番の笑い笑顔が見られた暖かいクリスマス会・忘年会となりました！



泊村むつみ荘「被服販売」

毎年恒例となっている養護ホーム利用者への被服販売が行われました。利用者が毎年楽しみにされているイベントのひとつで、「これがいいかな？こっちもいいね！」と楽しそうに買い物され、「いいクリスマスプレゼントになった」と喜ばれていました。



緑ヶ丘老人ホーム「誕生会」

12月の誕生会では、職員による余興でサンタクロースやトナカイなどクリスマス色となりました。会場内をトナカイがサンタクロースを乗せて歩き、皆さん大変盛り上がりしました。



後志リハビリセンター「年忘れ会」

今年最後の運動し？と、年忘れ会では「卓上ボーリング」と「ビンゴゲーム大会」を行いました。ボーリングでは、ボールの大きさによって点数が変わるため、ボール選びも重要です。あえて小さなボールを選ぶチャレンジャー多数。「ビンゴゲーム」ではなかなかビンゴが出ず、焦る(-_-)担当職員…。数字が読み上げられる度に「おお～」と歓声が上がっていました。今年の運はいかがだったでしょうか…？



後志リハビリセンター「クリスマス会」

今年は一足早く21日にクリスマス会を開催。今回も男女のデコツリー対決と、リハビリセンターや職員に関するクイズを行いました。ゲーム終了後はプレゼントの配布を行い、夕食は豪華特別メニューに舌鼓を打ち、楽しい一日を送る事ができました。



後志リハビリセンター「年末年始行事ポスター」

ここ数年、年末年始の三大行事（クリスマス会・年忘れ会・新年会）の周知ポスターの出来栄が素晴らしく、行事よりも楽しみとの声も上がるほどです。



黒松内保育園「まゆ玉飾り」

園児たちがまゆ玉の飾りつけをしました。水をつけすぎてベタベタになったり、力を入れすぎて割ってしまうハプニングもありましたが、楽しみながら新年を迎える準備を行いました。

色鮮やかなまゆ玉で飾られた水木(ミズキ)は玄関に飾られ、



「きれい!」「大きくてすごいね!」と子ども達は嬉しそうに、迎えに来た保護者に話していました。

緑ヶ丘ハイツ「まゆ玉作り」

12月27日、利用者の皆様にお手伝いをいただき、まゆ玉飾りつけを行いました。「懐かしいね」などと昔話も飛び出していました。今年もきれいにでき上がり、お正月の準備が整いました。



しりべし学園「もちつき」

12月27日、体育館にて「もちつき」が行われ、参加した子ども達は重たい杵を上手に使いお餅を「ペタン」「ペタン」とつきました。年に1回の行事に子ども達からは「楽しかった」や「重かった」と様々な声が聞く事ができました。最後は、皆でついたお餅であんこ餅等を作り、美味しそうに食べていました。



黒松内つくし園「まゆ玉飾り」

12月28日、まゆ玉飾りが行われました。

集まった子ども達は楽しそうにカラフルなまゆ玉を枝に飾りつけました。

でき上がったまゆ玉飾りは玄関と食堂に飾りました。



ユニットケア慶和園「まゆ玉飾り」

新年へ向けて利用者と一緒にまゆ玉飾りを作りました。水木(ミズキ)にまゆ玉やお正月飾りを協力して飾り付けました。皆さんからは「きれいだね」「ここ飾りが少ないかな?」などの声も聞かれ、全体のバランスを見ながらきれいに飾りました。



しりべし学園成人寮「しめ縄交流会」

12月3日、しりべし学園体育館にて、4年ぶりにしめ縄づくり交流会を開催しました。

しりべしワークセンターセオスでは、しめ縄の作成・販売を行っており、その作り方を体験いただく交流会を毎年行ってきました。コロナ禍で開催を控えてきましたが、4年ぶりに実施することができました。

久しぶりの交流会でしたが、利用者、参加者の方も顔見知りの方が多く、和気あいあいとしめ縄を編み、飾り付けを行っていただきました。利用者、参加者の方からも楽しかったとの言葉をいただき、改めて地域住民の方との交流の大切さを感じました。

今後も地域交流の場を絶やすことなく、交流会を続けていきたいと思えます。



黒松内つくし園「もちつき」

12月26日、玄関ホールで「もちつき」が行われました。初めて体験する子どもも多く、杵を重そうに振り上げ、一生懸命おもちをついていました。



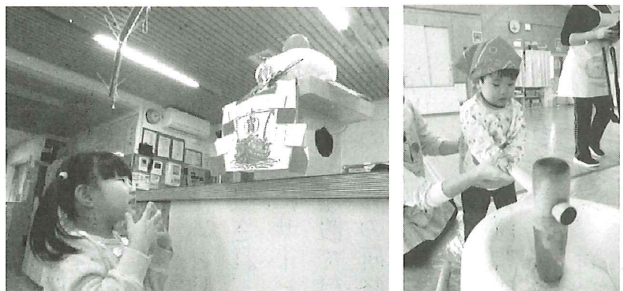
湯の里・黒松内「まゆ玉飾り」

12月23日にお正月飾りであるまゆ玉飾りを皆さんで楽しく準備しました。「1年が過ぎるのは早いよね」、「子どもの頃に飾ったよね」、「来年は良いことあるように」などおしゃべりも楽しみながら作りました。



黒松内保育園「おもちつき」

年末恒例の「おもちつき」を行いました。自分たちでついたおちは、とってもおいしくて、「砂糖醤油」「きな粉」「あんこ」の3種類用意したおちはあつというまになくなり、どの子どもおなかいっぱい食べていました。みんなで作ったおちは、大きくてきれいな鏡餅になり、玄関カウンターに飾られました。おもちパワーで、新年も健康で元気に過ごせますように！



湯の里・黒松内「もちつき」

12月27日は、1年の最後を飾る行事である「もちつき」を行いました。利用者と職員で力を合わせ、「ヨイショ!!」の掛け声とともに餅をつく様子は迫力がありました！つきたてのおちはお雑煮にして利用者に召し上がっていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。



緑ヶ丘老人ホーム「大鳥神社境内除雪」

12月31日、社会奉仕の一環として大鳥神社の境内除雪を行いました。緑ヶ丘老人ホームが開設して以来、毎年欠かさず行っている地域貢献事業です。今年は職員と地域の皆様と一緒に、新年に向けて準備が整いました。これからも開設当初の想いに寄り添い、伝統を守っていきます。



泊村むつみ荘「年越しそば打ち会」

大晦日に年越しそば打ち会を開催しました。腕に覚えのある職員が利用者の皆さんに「そば打ち」を披露し、そば粉の香りが漂う中、盛況のうちに終えることができました。良いお年を迎えられますように！



訪問介護等事業所 「ヘルパーステーション つくしんぼ」を休止

当法人の訪問介護・障がい者居宅介護事業を行ってきた倶知安地区「ヘルパーステーションつくしんぼ」が、11月30日をもって事業を終了しました。



「つくしんぼ」は、2005年7月に開設され、18年間にわたり倶知安の高齢者や障がい者のお宅に伺って様々なサービスを提供するヘルパー事業を展開。年齢や障がいに関係なく、利用者が望む環境（住み慣れた家・家族・親しい友人など）で安心して自立した生活を送ることができるように、ゆとりと笑顔のある暮らしのお手伝いができるよう事業を行ってきました。

近年は、介護報酬低下や燃料費・光熱費などの様々な物価高騰による経費増により、経営難が続いていました。加えて、倶知安・ニセコ地区の賃金上昇のため、ヘルパーの担い手を確保するのが難しく、思うような事業展開ができませんでした。そのため、倶知安地区及び法人の方針により、残念ながら事業を廃止することを決定し、12月1日より休止としました。

これまでの18年間、利用者地域の皆様を支えられここまで運営してこられたことができた。感謝の気持ちでいっぱいです。ご利用していただいた皆様、本当にありがとうございました。（訪問介護員 下野朝美 記）



老人福祉施設慶和園の 取り組み

京極町にある慶和園には、養護老人ホームと特別養護老人ホームが併設され、100名近くの利用者にサービスを提供しています。施設では、職員の資質向上のための研修と実践発表会など地域福祉向上のための取り組みを数多く実施しています。

○目指せ介護福祉士！「介護福祉士実務者研修会」を開催

今年度は、新たに慶和園をスクーリング会場として介護福祉士実務者研修会を開催。外国人スタッフ3名、他施設職員3名



も含め計13名が受講し、ともに介護福祉士合格を目指して学びました。



○「看取りケア研修会」開催

今年度慶和園では、北海道の事業である「介護関係職員医療連携支援事業」を受託。「倶知安厚生病院」と「ようてい訪問看護ステーション」様より講師をお招きして「看取りケア研修会」を11月に開催しました。全2回の研修日程で次回は1月に開催予定です。高齢者施設の意思決定支援や施設における看取りケアの現状、入所者の重度化や疾患への対応、看取る側の心がまえ等理解を深め、現場実践につなげていきます。

法人会務の運営状況

(2023年11~12月開催分)

- ◆ 11月6日 人事考課者研修
- ◆ 11月29日 監事監査・監査法人期中往査 1日
- ◆ 12月5日 事務担当者ミーティング
- ◆ 12月11日 黒松内町町政懇談会
- ◆ 12月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 12月15日 苦情解決委員会
- ◆ 12月20日 振興局しめ縄贈呈
- ◆ 12月21日 新任職員フォローアップ研修
- ◆ 12月25日 第436回理事会

ご厚志に心から感謝申し上げます

(令和5年11月1日から令和5年12月31日まで)敬称は略させていただきます。

お詫びのご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、ご芳名のご公表を控えさせていただきますことにご心よりお詫び申し上げます。昨今の個人情報流出防止等への対応となりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

北海道新聞社会福祉振興基金、社会福祉法人京極町社会福祉協議会、北海道共同募金会、(有)小間旅館、(有)名取商店

黒松内つくし園の 児童にケーキ寄贈

12月25日、株式会社上田商会(本社 登別市)に勤める卒園生の滝吉正人さん(平成17年3月卒園)と、同社代表取締役社長 上田朗大様に依頼を受けたサントアさんが、ケーキ76個とお菓子を持って来園して下さいました。



滝吉さんは3歳から18歳までを当園で過ごしました。クリスマスには「わかさいも本舗」に勤める卒園生の館洞勝雄さん(昭和40年3月卒園)が一人にひと



つずつ手作りケーキを届けてくれ、それをとても楽しみにしていたそうです。しかし2015年、館洞さんの退職を機に、43年間続いたケーキの寄贈が終わりました。そのことを滝吉さんが上田社長に話したところ、2019年からは上田商会がケーキを贈って下さるようになり、今年で5回目となりました。幼児と小学生はサントアさんからお菓子を受け取り大喜びでした。小学生の女の子は「サントアさんからもらったケーキとお菓子がとてもおいしかった」と嬉しそうに話してくれました。

令和六年「甲辰(きのえたつ)年」の幕開け

「特大しめ縄を後志総合振興局へ贈呈」



特大しめ縄を猪口後志総合振興局長へ贈呈

携わっている工藤友強さんから猪口浩司後志総合振興局長に贈呈しました。恒例となった後志総合振興局へのしめ縄贈呈は四半世紀以上続いています。贈呈した工藤友強さんは、緊張していた様子でしたが、無事に贈呈することができました。

贈呈したしめ飾りは、同席していたいただいた方々からも好評で総合振興局の正面玄関に飾られ元旦を待つのみとなりました。新年も旧年に増して「しりべしワークセンターセオス」にご愛願賜りますようお願い申し上げます。

(係長 小林健介 記)

12月20日、当法人の就労支援B型事業所「しりべしワークセンターセオス」で作成した特大しめ縄を、後志総合振興局に贈呈しました。新年の幸せを願ったしめ縄を、大代理事長、遊部施設長同席のもと、しりべしワークセンターセオス園芸課でしめ縄作りに



しめ縄が飾られた正面玄関

編集後記

2023年もあつという間に終わり、世相を表す漢字が「税」に決まりました。増税メガネ(某首相)やガソリン高騰、インボイス制度開始などの影響でしょうか。様々な物価高騰で家計は大変な状況の中、政治家による裏金疑惑に激しい憤りを感じます。庶民感覚と大きなずれのある政治家が多すぎて、さらに政治への無関心に拍車がかかるでしょう。

新型コロナウイルスは5類移行となりましたが、法人施設ではまだ感染が続いています。さらにインフルエンザなど他の感染症の流行も多くなっています。5類移行で都会ではマスク着用者が少ないように感じますが、医療・福祉施設では必須であり、私たちも習慣になっています。

干支は「十干」と「十二支」の60種類を組み合わせて、2024年は「甲辰(きのえたつ)」です。「春の日差しが、あまねく成長を助く年」とのことです、その通りになってほしいものです。本年も法人の広報誌やホームページ、施設の広報誌をさらに読みやすく見やすくするよう充実させてまいります。会報ブナの里と法人広報委員会をどうぞよろしくお願いいたします。

岡田



法人会報「ブナの里」第143号

発行年月日 令和6(2024)年1月1日発行
発行 者 社会福祉法人 黒松内つくし園
発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 **黒松内つくし園**

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1
電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL:https://tsukushien.or.jp